

保証とアフターサービス

1 この商品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みの上大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3 保証期間後の修理は…

販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

注) 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

TEL.03-3527-8899 FAX.03-3527-8956

営業日:月曜～金曜(但し、祝日は除きます)お電話受付時間 9:30～17:00

〒135-0064 東京都江東区青海3丁目2番17号
ワールド流通センターA棟 ユニエックス倉庫内

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を!



このような症状はありませんか?

- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、ただちにご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。

株式会社 シー・シー・ピー

本 社：〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

OM0

-----キリトリ線-----

タンブラー付きコーヒーマーカー 保証書

品 番	BZ-TC80		
お名前	様		
お客様住所	〒		
	電話番号 () -		
お買い上げ	年 月 日	取扱販売店	住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日より 1年	対象部分 本体 消耗部品は除く	株式会社 シー・シー・ピー 〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

持込修理

本書はお買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は裏面をご参照ください。

株式会社 シー・シー・ピー
〒111-0043
東京都台東区駒形2-5-4

Simple & Modern

BONABONA

取扱説明書

保証書付

タンブラー付きコーヒーマーカー

品番 BZ-TC80



このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

◎ご使用前に

安全上のご注意	-----2
使用上のご注意	-----5
各部のなまえ	-----6
ご使用前に	-----7

◎使いかた

ホットコーヒーの作りかた	-----9
アイスコーヒーの作りかた	-----12
カフェポッドでのコーヒーの作りかた	-----13

◎お手入れ

お手入れ	-----14
------	---------

◎困ったときに

故障かな!?と思ったら	-----16
仕 様	-----17
消耗品 / 交換部品	-----18
保証とアフターサービス	-----巻末
(保証書)	-----巻末

家庭用

この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。
This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

安全上のご注意

—必ず守ってください—

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

◎ここに示した注意事項は、本商品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

	危険	「人が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容」を表わしています。
	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。
	注意	「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容を表わしています。		必ず実行していただく「強制」の内容を表わしています。
--	-------------------------	---	----------------------------

警告

	使用禁止	子供だけで使用させたり、遊ばせたりしない。また、幼児の手の届く範囲で使用しない 感電やけが、やけどの原因になります。		プラグを抜く	お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く 感電やけが、やけどの原因になります。
	禁止	本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない 感電やけが、火災の原因になります。		禁止	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	使用禁止	電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。		分解禁止	改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(⇒巻末参照)
	使用禁止	交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。		禁止	流し台など水にぬれやすい場所には置かない 感電・漏電・火災の原因になります。
	水ぬれ禁止	本体、差し込みプラグ、電源コードに水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。		使用禁止	取扱説明書に記載以外の用途に使用しない 内容物が吹き出すなどおむね事故や、やけど・けがの原因になります。
	プラグを抜く	異常時（焦げくさいなど）は、運転を停止して差し込みプラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(⇒巻末参照)		禁止	電源コードや差し込みプラグが破損した状態でコーヒーマーカーを使用しない 使用中に破損を見つけたときは、直ちに使用をやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。電源コードや差し込みプラグの破損については、感電またはけがのおそれがあるため当社サービスセンターにご連絡いただき、修理交換してください。(⇒巻末参照)
	接触禁止	ドリップ中はふたを開けたり高温部に触れたり顔などを近づけたりしない やけどの原因になります。			
	ぬれ手禁止	ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない 感電の原因になります。			

注意

	禁止	不安定な場所には置かない 落下してけがの原因になります。		禁止	海外では使用しない 故障、発火の原因になります。
	禁止	高温の場所や火気の近くでは使用しない 変形・故障の原因になります。		プラグの点検	ときどきはコンセントや電源コード、差し込みプラグの点検を行なう コンセントにほこりがたまっていてと湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。 ◆おもわぬ事故を防ぐために・・・ ●コンセントのまわりにほこりをためないようときどき掃除をする。 ●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。 ●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。 ●電源コードの損傷を見付けた場合は直ちに使用を中止し、当社サービスセンターへご連絡ください。(⇒巻末参照)
	プラグを抜く	使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く 感電・漏電・火災の原因になります。		単独で使用する	定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する 感電・火災の原因になります。
	プラグを抜く	差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 電源コードが劣化してショートや発火の原因になります。		禁止	お手入れする際は、ナイロンたわし、みがき粉など固いもの、傷をつけるおそれのあるものでこすらない まれに自然破損する原因になります。割れ・欠け・ひびなどが発生したら使用を中止してください。
	禁止	ドリップ中やタンブラーをセットした状態で本体を移動させない 本体やタンブラーの落下などによりやけど・けがの原因になります。		禁止	コーヒーマーカーは横転させない コーヒーが漏れてまわりを汚したり、やけどの原因になります。
	使用禁止	人がよく通るところで使用しない ぶつかったり、電源コードにひっかかったりして本体が落下し、やけど・けがや故障の原因になります。		禁止	タンブラーにコーヒーを入れたまま、長く放置しない 腐敗や変質の原因になります。
	禁止	壁や家具の近くで使用しない 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。			
	禁止	空焚き（給水タンクに水を入れずに電源を「ON」(I)にする）はしない 空焚きの状態で給水タンクに水を入れると、蒸気が吹き出してやけどや本体の変形の原因になります。			
	禁止	お湯は使用しない 途中でドリップが停止する原因になります。			

注意



本商品に強い衝撃を与えない
漏れ・ショート・感電・故障の
原因になります。



タンブラーは電子レンジで使用しない
電子レンジが故障する原因になります。
また熱により部品が変形し、コーヒーがこ
ぼれてまわりを汚したり、やけどの原因に
なります。



必ず守る

アイスコーヒーを作る際に、大きな氷
は無理にタンブラーに押し込まず、小
さくしてから入れる

コーヒーがこぼれてまわりを汚したり、や
けどの原因になります。



必ず守る

タンブラーを確実にセットしてから電
源を「ON」(I)にする

コーヒーがこぼれてまわりを汚したり、や
けどの原因になります。



使用禁止

お手入れの際は食器洗浄機は使用しない
故障・破損・変形の原因になります。



禁止

お手入れの際は、シンナー・ベンジン・ア
ルコール・みがき粉などは使用しない
変色や故障の原因になります。



必ず守る

お手入れや続けて使用する際は、本体
が冷めるまで(約10分間)待つ

使用直後にふたを開けたり、本体を動かすと
蒸気が吹き出してやけどの原因になります。



必ず守る

本商品を廃棄するときは、地域の行
政・自治体の指示にしたがい、適切な
方法で廃棄する



使用禁止

本商品は家庭用です。通常の使用以外
の目的や業務用として使用しない

破損・故障の原因になります。

けがや故障などを防ぐために、必ずお守りください

●本商品は家庭用のコーヒーマーカーです。故障の原因となりますので、業務用としては使用しないでください。

お願い

●安全上のご注意をよくお読みください。(⇒2～4p参照)

本商品を安全にお使いいただき、あなたやほかの方への危害や損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容ですので、必ずよくお読みください。

●定期的にお手入れをしてください。(⇒14p参照)

汚れたままで使用を続けると、コーヒーマーカーとしての性能が発揮できなくなるだけでなく故障・不衛生の原因になりますので、ご使用のたびにお手入れしてください。

給水タンクに水以外のもの(お湯、牛乳など)
を入れて使用しない

変形・故障の原因になります。

多湿で水がかかるところがあるところ・火気
の近くや高温となる場所で使用しない

感電・火災・故障・変形・変色の原因になります。

タンブラーを電子レンジで使用しない

タンブラーは電子レンジ調理に対応していません。
故障・変形・変色の原因になります。

タンブラーを冷蔵庫に入れない

変形・変色の原因になります。

ドリッパー、フィルターは付属品以外は使用
しない

けが・故障の原因になります。

運転中に差し込みプラグを抜かない

感電・故障・変形・変色の原因になります。

「MAX」のライン以上に水は入れない

給水タンクに水を入れすぎると、給水タンク穴か
ら水が流出します。

給水タンクに水を入れたまま放置しない

故障や変色・においの原因になります。

本体にふきんなどをかぶせて使用しない
変形の原因になります。

コーヒー粉を適量以上入れない

本体内でコーヒーがあふれる原因になります。

**コーヒー粉は粗挽き・中挽きなど本商品に適
したものを使用する**

細挽きのコーヒー粉を使用すると、フィルターが
詰まり、本体内であふれたり、タンブラーのコー
ヒーに粉が混入する原因になります。

お手入れの際にナイロンたわし・みがき粉など
を使用しない

傷つける原因になります。

お手入れの際は、シンナー・ベンジン・アル
コール・みがき粉などは使用しない

変色や故障の原因になります。

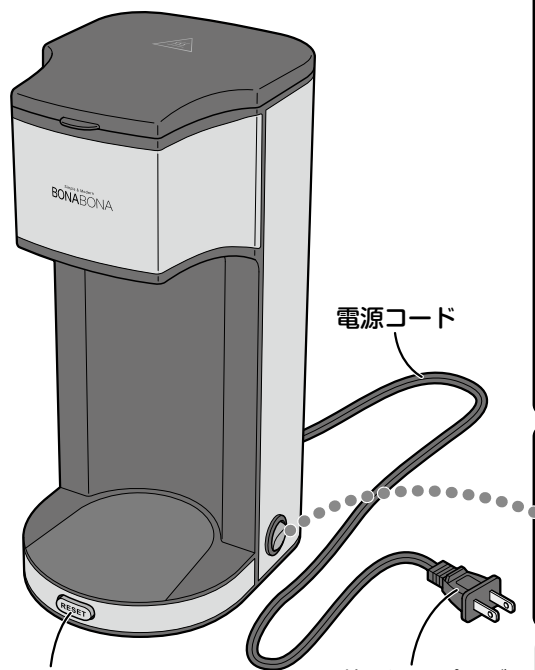
お手入れの際は、40℃以上のお湯は使用しない

変形・破損の原因になります。

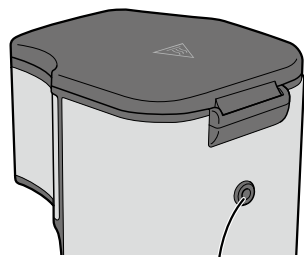
本体を食洗機に入れたり、水に浸したりしない
故障・破損・変形・誤作動の原因になります。

各部のなまえ

本体

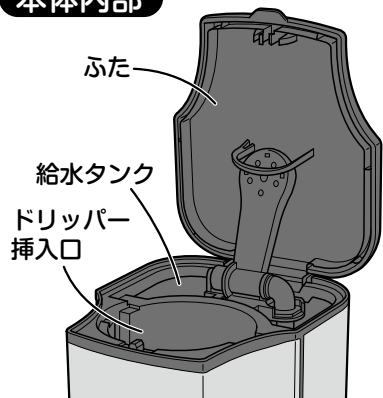


本体背面



給水タンクに水を入れすぎると
給水タンク穴から水が流出します。
(⇒7,10,13p参照)

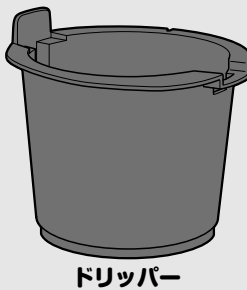
本体内部



電源スイッチ



付属品



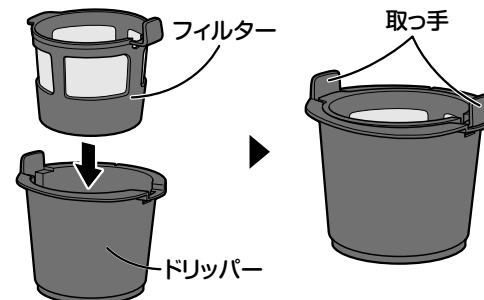
ご使用の前に

本体内部の洗浄方法

Point 本商品をはじめてお使いになるときやしばらく使わなかった場合、下記の洗浄方法で本体内部を洗浄してください。

1 フィルターをセットする

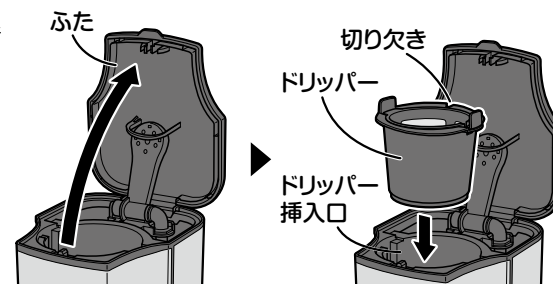
ドリッパーにフィルターをセットしてください。
ドリッパーとフィルターの取っ手が向き合うようにセットしてください。



2 ドリッパーをセットする

本体のふたを開け、ドリッパーをドリッパー挿入口にセットしてください。

注意) ドリッパーの切り欠きが
本体の奥側になるように
セットしてください。



3 給水タンクに水を入れる

本体の給水タンクの「MAX」ラインまで水を入れて、ふたを閉めてください。

注意

ふたは必ず閉める
蒸気が吹き出してやけどの原因になります。



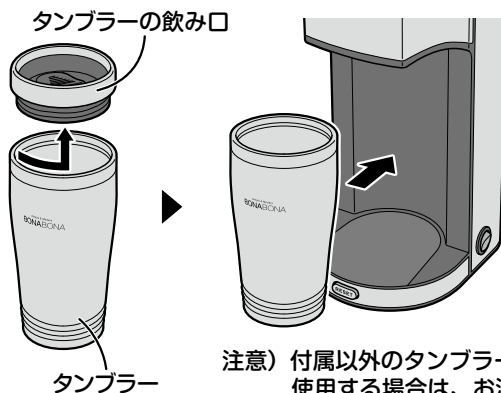
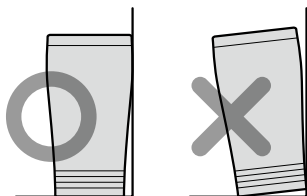
MAX

「MAX」ライン以上は水を入れないでください。
入れすぎると背面の給水タンク穴から水が流出します。

4 タンブラーをセットする

タンブラーの飲み口をはずし、本体にタンブラーをセットしてください。

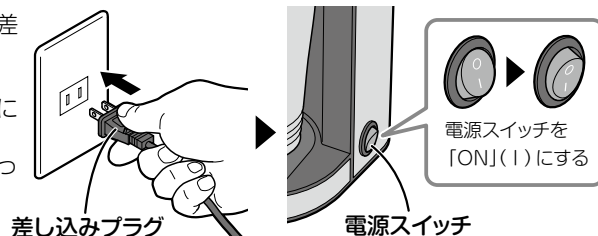
注意) タンブラーをセットする際は、本体の奥に付くまで押し込み、タンブラーが斜めにならないようにしてください。



注意) 付属以外のタンブラーを使用する場合は、お湯が漏れたり飛び跳ねたりする場合があります。

5 電源を「ON」(I)にする

差し込みプラグをコンセントに差し込む、本体の電源スイッチを「ON」(I)にしてください。ドリップが始まり、タンブラーにお湯が注がれます。給水タンクの水がすべてなくなったら洗浄終了です。



注意

ぬれた手で差し込みプラグを触らない
感電の原因になります。

やけどに注意する

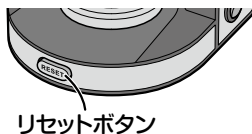
ドリップ後、タンブラーをはずしたときにドリップから湯(熱湯)が垂れ、やけどの原因になります。

リセットボタンについて

上記までの手順で洗浄(ドリップ動作)を開始しますが、洗浄(ドリップ動作)が開始しない場合はリセットボタンが青色に点灯していないことを確認し、リセットボタンを押してください。

リセットボタンが青色に点灯し、洗浄(ドリップ動作)が開始します。

※リセットボタンを長く押さないでください。内部温度が異常上昇して温度ヒューズが切れることがあります。



Point

樹脂のにおいが気になる場合は、同じ手順で洗浄を行なってください。繰り返し洗浄を行なう場合は、本体を冷まし(約10分間)タンブラーのお湯を捨ててから行なってください。

ホットコーヒーの作りかた

Point

- ・本商品ではコーヒー粉(コーヒー豆を挽いた、粗挽き・中挽きの粉)を使用してください。
- ・はじめてご使用になるときや、長期間使用していなかった場合は本体内部の洗浄を行なってください。(⇒7p参照)

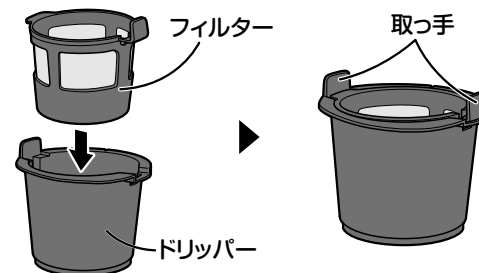


注意

洗浄後続けてコーヒーを作る場合は、5分以上時間をおいて本体を冷ましてから給水をしてください。

1 フィルターをセットする

ドリッパーにフィルターをセットしてください。ドリッパーとフィルターの取っ手が向き合うようにセットしてください。



2 コーヒー粉を入れる

フィルターに計量スプーンなどでコーヒー粉を適量(約21g)入れて、上面を平らにならしてください。



注意

コーヒー粉を入れすぎたり、細挽きのコーヒー粉は使用しない

コーヒー粉を入れすぎたり、細挽きのコーヒー粉を使用すると、フィルターが詰まり、本体内であふれたり、タンブラーのコーヒーに粉が混入する原因になります。



コーヒー粉の量

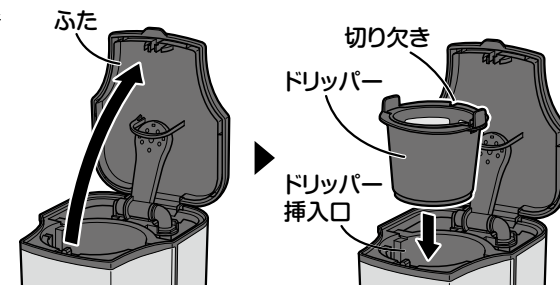
タンブラー1杯約350mlとして、コーヒー粉の適量は約21gです。
※コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。

3 ドリッパーをセットする

本体のふたを開け、ドリッパーをドリッパー挿入口にセットしてください。

注意) ・ドリッパーの切り欠きが本体の奥側になるようにセットしてください。

・給水タンクに粉がこぼれないよう注意してください。給水タンクに粉が入るとヒーターが詰まったり故障の原因になります。

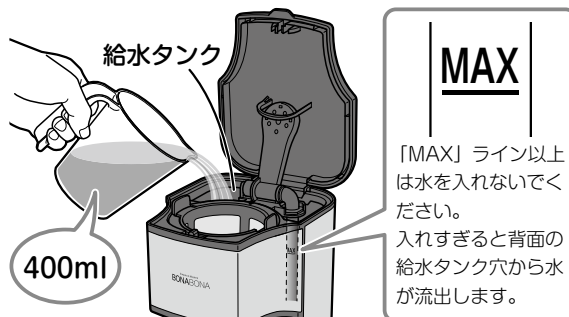


4 給水タンクに水を入れる

本体の給水タンクに400mlの水を入れ、必ず本体のふたを閉めてください。

注意

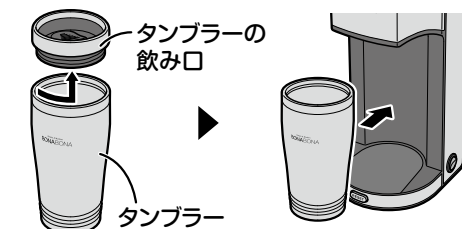
ふたは必ず閉める
蒸気が吹き出してやけどの原因になります。



5 タンブラーをセットする

タンブラーの飲み口をはずし、本体にタンブラーをセットしてください。

注意) タンブラーをセットする際は、本体の奥に付くまで押し込み、タンブラーが斜めにならないようにしてください。



Point タンブラーにお湯を入れて予熱しておくことでコーヒの温度低下を和らげます。
※予熱で使ったお湯は捨ててください。

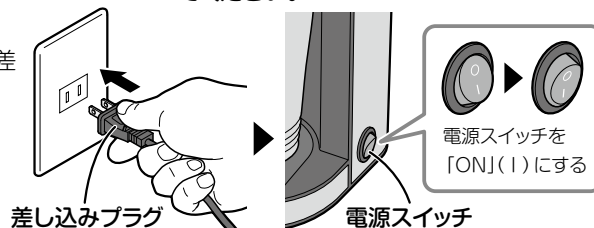
注意) ドリップ中は本体のふたを絶対に開けないでください。

6 電源を「ON」(I)にする

差し込みプラグをコンセントに差し込む、本体の電源スイッチを「ON」(I)にしてください。ドリップが始まります。

注意

ぬれた手で差し込みプラグを触らない
感電の原因になります。



やけどに注意する
ドリップ後、タンブラーをはずしたときにドリッパーからコーヒが垂れ、やけどの原因になります。

リセットボタンについて

上記までの手順でドリップを開始しますが、ドリップが始まらない場合はリセットボタンが青色に点灯していないことを確認し、リセットボタンを押してください。

リセットボタンが青色に点灯し、ドリップが始まります。

※リセットボタンを長く押さないでください。内部温度が異常上昇して温度ヒューズが切れることがあります。

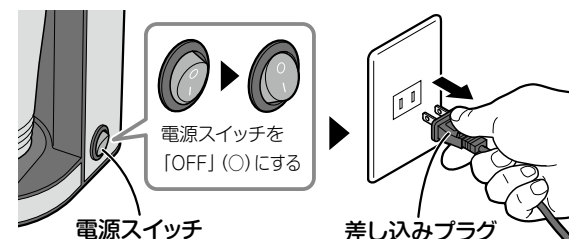


7 電源を「OFF」(O)にする

ドリップが完了しましたら、本体の電源スイッチを「OFF」(O)にし、コンセントから差し込みプラグを抜いてください。

注意

ぬれた手で差し込みプラグを触らない
感電の原因になります。



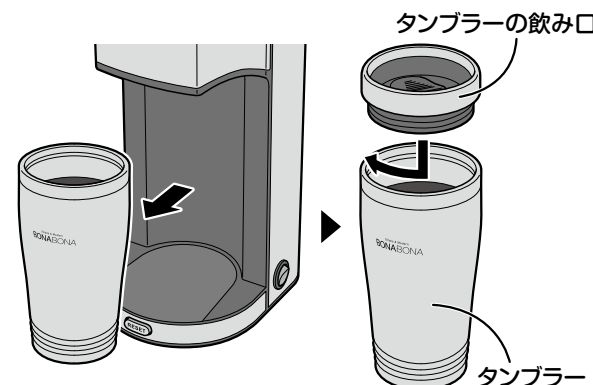
8 タンブラーを取り出す

本体からタンブラーを取り出し、飲み口をしっかりと閉めてください。

注意) ドリップ直後のタンブラーは熱くなっていますのでご注意ください。

注意

飲み口のスライド式ロックふたは密閉式ではありません。ふたを閉めても横にするとコーヒが漏れます。

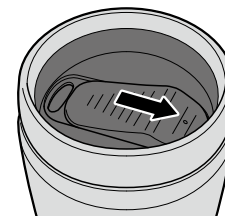


コーヒをお飲みの際に

タンブラーをしっかり持ち、図のように飲み口のロックをスライドさせてからお飲みください。しばらくお飲みにならない場合はロックを元に戻しておくと、冷めにくくなります。

※ドリップ直後のコーヒは高温になっていますので、お飲みの際はやけどにご注意ください。

※タンブラーは飲み口を付けても振ったり横転させると、コーヒが漏れてしまいます。



Point 続けてコーヒを作る場合は、5分以上時間をおいて本体を冷ましてから給水をしてください。
※抽出直後に給水すると、給水タンクから蒸気が吹き出すことがあります。

9 お手入れをする

本体が冷めるのを待ち(約10分間)
お手入れをしてください。
(⇒14p参照)

注意

ドリップ中やドリップ後しばらくは高温部を触らない
本体・ふた・ドリッパーなど高温部に触れたり、顔などを近づけないでください。やけどの原因になります。

アイスコーヒーの作りかた

「ホットコーヒーの作りかた」（⇒9p参照）と同様の手順で作ります。

- Point**
- アイスコーヒーはアイスコーヒー用の粉を使用してください。
 - ホットコーヒーとは水の量が異なります。
 - タンブラーの容量に対して、6割程度の氷を入れてください。大きな氷は小さくしてから入れてください。



コーヒー粉	約12～15g
水	140ml

※コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。

注意

氷を入れすぎない

氷を入れすぎると、コーヒーが飛び跳ねまわりを汚したり、コーヒーがあふれてやけどの原因になります。

大きな氷を入れない

無理に入れると、タンブラーが変形したり、けがの原因になります。

コーヒーをおいしく味わうために…

コーヒーの賞味期限は？

購入したパッケージに記載されている賞味期限を守ってください。

一度開封した場合、コーヒー粉（挽いてあるコーヒー）なら7～10日程度、豆のままの場合、1ヶ月程度で飲みきるようにしてください。

コーヒーの保存方法は？

外気に触れないようにしっかりと口を閉じ、酸素や高温、湿気などを遮断できる冷暗所か冷蔵庫などで保存してください。

ドリップしたコーヒーは保存できる？

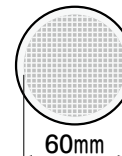
ドリップしたコーヒーは、時間が経つと香りが失われたり、酸味が強くなったりしてしまいますので、飲む分だけ作ることをおすすめします。

カフェポッドでのコーヒーの作りかた

市販のカフェポッド※を使って簡単にコーヒーをいれることができます。

※「カフェポッド」は、1杯分のコーヒーを最適な挽き具合でフィルターペーパーに詰めたものです。レギュラーコーヒー用60mmタイプと、エスプレッソ用44mmタイプの、大きく分けて2種類の規格があります。

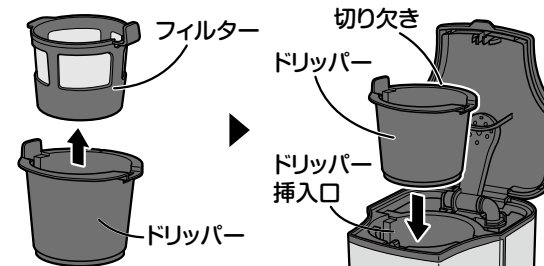
本商品には、レギュラーコーヒー用60mmタイプのものをご使用ください。



1 フィルターをはずす

ドリッパーからフィルターをはずして、ドリッパーのみ本体にセットしてください。

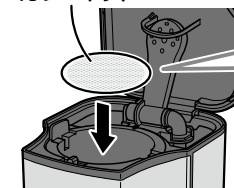
注意）ドリッパーの切り欠きが本体の奥側になるようにセットしてください。



2 カフェポッドをセットする

ドリッパーにカフェポッドをセットしてください。

カフェポッド



向きに注意

上側：メッシュが粗く表面が網目状になっている

上側：メッシュが細かく表面が丸みを帯びている

Point カフェポッドは、レギュラーコーヒー用60mmのタイプのものを使用してください。

3 給水タンクに水を入れる

本体の給水タンクに150mlの水を入れ、本体のふたを閉めたあとは10ページの5以降の手順と同様です。

※給水タンクに150ml入れた場合のできあがり量は、約120～130mlになります。水量はお好みにより加減してください。



MAX

「MAX」ライン以上は水を入れないでください。入れすぎると背面の給水タンク穴から水が流出します。

注意

ふたは必ず閉める

蒸気が吹き出してやけどの原因になります。

やけどに注意する

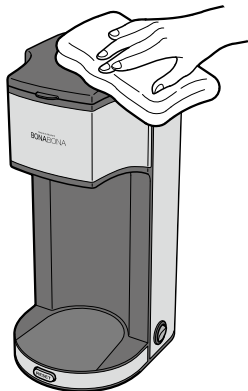
ドリップ後、タンブラーをはずしたときにドリッパーからコーヒーが垂れ、やけどの原因になります。

⚠ 注意

- ・お手入れを開始する前に、必ず電源を「OFF」(○)にして差し込みプラグがコンセントから抜けていることを必ず確認する
- ・本体などが高温になっていないか必ず確認する
- ・電源コードが損傷していないかを定期的に点検する
- ・使用後はすぐにお手入れを行なう
- ・40℃以下のお湯または水を使用する
40℃以上の高温のお湯を使用すると変形・変色の原因になります。
- ・食器洗い乾燥機は使用しない
食器洗い乾燥機を使用すると故障・破損・変形の原因になります。
- ・シンナー、ベンジン、アルコール、みがき粉などは使用しない
変色や故障の原因になります。
- ・ドライヤー、乾燥機などを使って乾燥させない
熱により変形・故障することがあります。
- ・ぬれたまま本体に取り付けない
乾燥させずに使用すると故障の原因になります。

本 体

水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で汚れをふき取ってください。



フィルター

コーヒー粉を捨てたあと、残っているコーヒー粉をブラシなどを使って、水か40℃以下のお湯を流しながらよく洗い流してください。
水気をふき取り、十分に乾燥させてください。

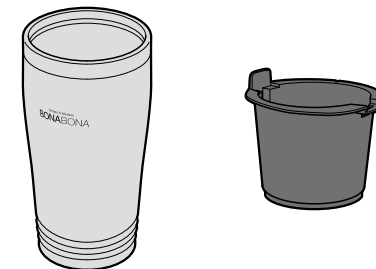


⚠ 警告

本体・電源コード・差し込みプラグには水をかけたり、水につけたりしない
感電の原因になります。

タンブラー、ドリッパー

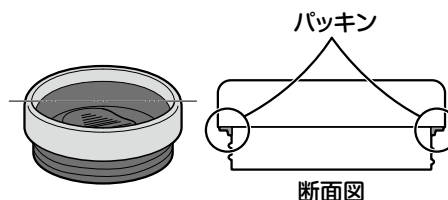
スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水かお湯でよく洗い流してください。
水気をふき取り、十分に乾燥してください。



飲み口

パッキンを取りはずし、スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水かお湯でよく洗い流してください。
水気をふき取り、十分に乾燥してください。

注意) パッキンは引っ張りすぎないように取りはずしてください。取り付ける際は、めくれないように取り付けてください。(断面図参照)



ドリップの時間が長くなった場合

購入時に比べ、ドリップの時間が長く感じた場合は本体内部に水あかが付着し、水の流れが悪くなったのが原因です。その場合、水の中に小さじ0.5杯(約1.5~2g)のクエン酸を加えてよく混ぜてください。

クエン酸入りの水を給水タンクに入れたあとは、8ページからの手順でドリップしてください。その際、クエン酸のにおい移りを防ぐため、フィルターははずしてください。

ドリップ完了後、水を捨てて水のみで2~3回ドリップし、クエン酸を流してください。ドリップの時間が改善されない場合は、クエン酸の水で数回ドリップしてください。

※一度使った水またはクエン酸入りの水は捨ててください。

※繰り返しドリップする際は、本体などを冷ましてから(約10分間)行なってください。

故障かな!?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなときは	原因・調べるところ	直しかた
・コーヒーがフィルターからあふれる	・細挽きのコーヒー粉を使用している	・粗挽きまたは中挽きのコーヒー粉を使用する 5p参照
・電源スイッチを入れても運転しない	・差し込みプラグが抜けている ・電源スイッチが「OFF」(○)になっている ・リセットボタンのランプが消えている	・差し込みプラグをコンセントに差し込む 8,10p参照 ・電源スイッチを「ON」(I)にする 8,10p参照 ・リセットボタンを押す 8,10p参照
・タンブラーから水、コーヒーがあふれる	・飲み口が付いている ・水または氷の量が多い	・飲み口を取りはずす 8,10p参照 ・水または氷の量を減らす 10p,12p,13p参照
・コーヒーがタンブラーの外にドリップされる	・タンブラーを正しくセットしていない	・タンブラーを正しい位置にセットする 8,10p参照
・ドリップができない	・水が入っていない	・給水タンクに水を入れる 10p,13p参照
・ドリップの時間が長い	・水あかが付着している	・水あかを取り除く 15p参照

修理を依頼される場合は「保証とアフターサービス」(巻末)をご覧ください。

仕 様

■本 体

品 番	BZ-TC80
消 費 電 力	650W
電 圧	100V 50/60Hz
保 温 装 置	無し
容 量	最大使用水量 400ml
抽 出 方 式	ドリップ式
外 形 寸 法	幅135×奥行き167×高さ303mm
質 量	1.18kg (本体、タンブラー、ドリッパー、フィルター)
電 源 コードの長さ	約0.8m
付 属 品	タンブラー、ドリッパー、フィルター

■タンブラー

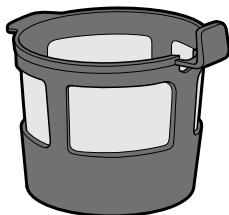
外 形 寸 法	幅85×奥行き85×高さ177mm
質 量	193g
容 量	350ml
材 質	本 体 ステンレス ふ ステンレス、PP た シリコンゴム パッキン

消耗品/交換部品

お買い上げの販売店または当社サービスセンターでお買い求めください。

◎消耗品

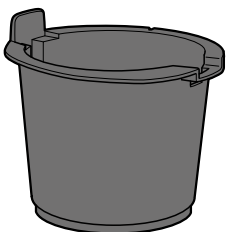
フィルター



EX-3706-00

◎交換部品

ドリッパー



EX-3707-00

タンブラー



EX-3708-00

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、当社サービスセンターへご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用としての使用)に使用された場合の故障及び損傷

(ヘ) 本書のご提示がない場合

(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※ This warranty is valid only for Japan.